

住み慣れた地域で元気に暮らすために

生活機能チェックのフローチャート

①かかりつけの薬局で生活機能チェックを行う



②生活機能が低下しているかを薬剤師が判断する



④市が行っている総合事業等サービスが受けられる



③本人の同意の下、薬局が地域包括支援センターへ情報提供する



健康な毎日は生活機能の把握から

医療や介護の技術が進歩し、人生100年時代といわれるようになりました。市では、高齢者がいつまでも生き生きと生活できるよう介護予防把握事業を実施しています。

年齢を重ねても、住み慣れた地域で安心して生活するためには、健康寿命を延ばすことが大切です。健康寿命とは、人の助けを借りなくても健康的に日常生活が送れる期間のこと。健康寿命を延ばすためには、自身の運動・口腔・認知機能などが、どの程度低下しているかを把握し、積極的に予防に取り組むことが重要です。

かかりつけの薬局で早期発見を

市では、市内の調剤薬局などと連携して、チェックリストを活用した「生活機能チェック」を実施しています。

これは、25項目の質問に回答してもらった上で、生活機能が低下しているかどうかを確認するもの

薬剤師インタビュー



成田市薬剤師会会長
木内 規之さん

薬局は薬を処方するだけでなく、皆さんの相談の窓口でもあります。薬局によく来る人の中で、普段と様子が違うことに薬剤師が気づき、地域包括支援センターへつなげた例もあります。日常の中で心配なことがあったら、気軽にかかりつけの薬局へ相談してください。

です。皆さんのかかりつけの薬局などで受けることができます。その結果に応じて、薬局が地域包括支援センターに連絡し、健康

職員インタビュー

地域包括支援センターでは、薬局から提供された情報を基に、一人一人に合った介護予防を働き掛ける取り組みを行っています。高齢になると自身の変化に気づきにくくなるため、チェックリストなどを活用して定期的に健康状態を確認するようにしてほしいです。



東部地域包括支援センター
(大栄支所)職員
伊藤 春美さん

づくり・介護予防に取り組めるよう支援を行います。
平成30年度は171件の生活機能チェックを実施し、そのうち44件が地域包括支援センターへつながられました。
市や薬局、地域包括支援センターが早期から関わることで、高齢者の皆さんが生きがいを持って元気に生活できるよう、これからも支援を続けていきます。
※くわしくは介護保険課 ☎20・1545へ。